



粒粒辛苦

2009年度
(社)鳥取青年会議所
会報誌 3月号



3月3日 若草学園施設交流事業

因幡

INNOVA [ina:va]
変革



研修会の様子

次に一四名の研修会員の皆さんに二つのグループに分かれて頂き、「清掃活動」というテーマで事業計画書を作成して頂きました。大変、熱の籠った議論をして頂き、その後は各グループの代表者に、それぞれの議案についてのプレゼンテーションをして頂きました。同じテーマで議案を考えても、事業の目的、場所、手法などに少しずつ個性の違いが現れる事を体験して頂きました。その結果を踏まえて各議案を一つにまとめ、全体のリーダー、サブリーダーを決めて頂きました。

第2回研修会を終えて

前期研修会員

宮脇 洋行

第2回研修会で、青年会議所の事業が実施されるまでの流れと社会開発事業を中心として、常に「明るい豊かな社会」を創り上げるための事業を検討するの発展を遂げたCD5サイクルを学習しました。そして研修会員が清掃活動というテーマのもと2班に分かれて対外的、対内的目的をふまえて清掃場所を議論し「砂像フェスティバル会場周辺」と「久松公園」が候補地としてあげられましたが、最終的に鳥取市民とのコミュニケーション機会を重視する観点より「久松公園」と決まりました。

鳥取JCI50周年記念大会をせまる!

創立50周年記念大会への意気込み
50周年実行特別委員会
委員長 山根 康徳
今年、事業計画案を検討して、前期研修会員の皆さんに、お疲れ様でした。今年一年間よく一緒に頑張りましょう!



2009年度 鳥取青年会議所 創立50周年記念式典

この年を新たな運動の礎となる年と捉え、歴史を築いてきた先輩方への感謝の気持ちを込めて、《人と人の環》を大切にし、地域の誇りが《未来への光》となるように「環光のまち因幡」推進運動をコンセプトに5月9日(土)とりぎん文化会館で開催します。創立50周年記念大会を大成功させたいと思っております。皆様からのご支援とご協力を引き続き宜しくお願い致します。

「今を大切に」

理事長 水野 由久

長い冬が終わり、いよいよ待ちに待った春の到来です。プロ野球選手は冬の間にしっかりとトレーニングをして体を鍛え、キャンプやオープン戦を通して技術を高め、最高のコンディションで開幕を待ちます。この過程を疎かにすれば、良い結果を出すことは困難です。JCIも同じだと思います。昨年の予定者段階から綿密なスケジュールを立て、しっかりと準備しておけば、素晴らしい事業を行うことができ、地域社会に大きく寄与する事ができます。更に委員会メンバーは、充実した時間と経験を積むことが出来ます。残り少ない今を大切に過ごしましょう。

2009年度 日本JCSローガン
やさしくあるために、つよくなる
愛に満ち溢れたつよいJAYCEEによるアドマイヤー型社会の実現「真日本建国」に向けて

【じゃがいも会】

いよいよ第1回じゃがいも会を開催いたします。本大会は委員会対抗戦とさせていただきますようお願い申し上げます。

「50周年記念杯」委員会対抗
～元気があればゴルフは出来る!～

開催日 3月29日(日)
集合時間 9:30
開会式 9:45(10時スタート)
場所 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部 白兔コース

【青雀会】

2月青雀会の優勝者は、濱崎大輔君でした。おめでとうございます。詳細は会員専用HPをご覧ください。得点表も掲載してあります!

そして3月の青雀会は、いよいよ委員会対抗戦です!

開催日 3月24日(火)
場所 いつもの「式部」
時間 19:30~

多数のご参加お待ちしております!

◎3月理事会報告

因幡のグリーン政策委員会
委員長 野田祐二

ついに3月理事会で全ての事業系委員会の事業案が上程されました。協議案としては資料が足りなく内容の薄い議論もありましたが、積極的な議論がなされた事で、よい事業へ繋がってゆくのだと思えます。

今ページの詳しい内容につきましては、(社)鳥取青年会議所ホームページ内の会員専用ページをご覧ください。
URL <http://torijc.main.jp>

「環光のまち因幡」推進運動

因幡の豊かな自然環境(ENVIRONMENT)と因幡の特徴を活かした環境保全活動(ECOLOGY)を観光資源として活用し、人と人との環を広めながら「環境」と「経済」が好循環するまちを創る運動です。

編集/発行/印刷:(社)鳥取青年会議所 広報委員会
鳥取市本町3丁目201番地 鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル4階 TEL:0857-24-1638
発行日:2009年3月18日

穀物の一粒一粒は、農民の苦勞と努力の結果実ったものであること。転じて、細かな努力を積み重ねて、たいへんな苦勞をすること。

2009年度 鳥取JCSローガン

~ 未来の笑顔は我が責務なり ~

将来の因幡を担う今の子供達が大人になった時に、「因幡に生まれて良かった」と思うことのできるまちを創る責任を負って(社)鳥取青年会議所は活動します。

【粒粒辛苦】りゅうりゅうしんく...こつこつと努力、苦勞を重ねること。「粒粒」は、米の一粒一粒。「辛苦」は、辛く苦しいこと。



飛び交う大風船

もと一緒に遊びに行こうとすると、周りの人に迷惑をかけるまいかと気が遣い、疲れるのですが、この日は皆さんの温かい心に包まれ、親子も存分に楽しませていただきました。笑顔と歓声であふれていました。

「春のお楽しみ会」の計画、準備、とても大変だったと思います。当日も子ども達とたくさん遊んでいたと思います。また、青年会議所の方々と若草学園の交流会は、40年以上続いているとお聞きし、大変感慨深く感じました。40年以上もずっと引き継いで続けてくださっていると思うと、今まで関わって下さった方々はいったいどれだけの人数になるのだろうか？と思いをめぐらせました。

たくさんの方々の愛に包まれ親子共に幸せな時間を過ごさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



岡崎ブロック会長



水野理事長

去る2月18日、鳥取ブロック協議会会長公式訪問2月定例会が行なわれました。

当日は、岡崎ブロック会長をはじめとする、鳥取ブロック協議会役員の皆様、そして多くのオプザーバーの皆様をお迎えして、2009年度の日本青年会議所及び鳥取ブロック協議会の基本方針についてご説明を頂き、また拝聴いたしました。ブロック会長様からのご挨拶やブロック各委員長様からの力強いお話を頂き、メンバーの皆様にとって貴重な時間を共有できたのではないのでしょうか。

また懇親会では、メンバー皆様の積極的な名刺交換をしていただき、各LOMのPRタイムでも、予定時間を、オーバーする程の盛り上がりで、しっかりと懇親を深めていただけたと感じています。

2月定例会では、鳥取ブロック協議会会長公式訪問例会・懇親会ということでたくさんの方々に参加され有意義な定例会だったと思います。私は懇親会準備担当ということで、段取り準備をさせていただき、段取り準備をさせていただき、段取り準備をさせていただき、段取り準備を...



懇親会



研修会を受ける前期研修会員

去る二月二日(木)に、第2回前期研修会員研修会を開かせて頂きました。

内容としては、初めに柴原委員長に鳥取青年会議所における事業というものが、どういう意味合いを持つものであるか、そして各委員会テーマについての調査研究から、事業計画書の作成、事業実施、次年度への引継ぎに至るまでのプロセスについて、企業内におけるPDCAサイクルに当てはめながら分かりやすく説明して頂きました。

しかし、懇親会が始まり皆さんの会話を、楽しそうなコミュニケーションを見てみると準備した側からしか体験できない喜びが生まれてきます。今後もそれを胸に会員交流委員会としてより一層頑張りたいと思います。

第2回 研修会員研修会

第二回前期研修会 研修会を終えて

組織力向上特別委員会 副委員長 井上 学

若草学園 施設交流事業

若草学園施設交流事業を終えて

青少年育成委員会 委員長 星山 君泰



鳥大障研さんプロデュースのダンス



みんなで輪になって踊りました

去る3月3日ひなまつりの日に40年間に渡る若草学園施設交流事業を開催いたしました。雪のちらつく寒い日となりましたが、元気いっぱいな子ども達と、笑顔あふれる交流となりました。本年は昨年の模擬理事会からの協議、1月審議と、かなりはやい段階での動きで、十分な準備をすることができ、参加された方が子ども達と十分ふれあえるような取り組みを考えました。そして委員会訪問等に参加を呼びかけ、多くのメンバーがこの事業に参加していただくことが出来たと思います。

子ども達が、私達が考えた遊びを通してメンバーとの交流で、本当に楽しそうに遊ぶ姿をみて、たくさん元気をいただきました。また、障害を持つ子ども達とのふれあいは、改めて福祉について考えることができたのではないのでしょうか。

若草学園施設交流事業を終えて

青少年育成委員会 副委員長 西村 俊二



魔法の絨毯みたい！

本年は大学生の参加も多く有意義な交流となり、この交流事業を来年以降もずっと続けていくべきだと感じました。この事業に参加していただいたすべての方に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



シャボン玉あそび

若草学園 園長 西根 雅子

若草学園では毎年3月3日が来るのとても楽しい遊びにしています。子ども達の楽しい遊びは、何と言ってもダンス、日頃私たち職員だけでは到底適わないような、パワフルでダイナミックな遊びが楽しめるのです。しかも、工夫を凝らした遊びが展開されるので、子供達はウキウキしてしまいうです。

今年も再三にわたって私たち学園との話し合いを重視していただき、子供達が安心して遊びを楽しむことができよう、十分な配慮のもと行われました。

当日は前日より冬の寒さが戻り、特に朝はぼたん雪の舞うあいにくの天気となりましたが、雪が大好きな子どもたちにとりましては、とても心のおどるスタートとなりました。

体育館はストーブが設置されており思ったほどの寒さは感じられませんでした。

大勢のJCSさん、鳥取大学の学生さんに囲まれて子どもたちはとても嬉しかったです。着ぐるみや、カニ、ナシ、タ、も登場してウキウキ気分を盛り上げてくれて、大満足の子どもたちでした。

ダンボール積み木



我が子とカレンドーを見ながら、もうすぐ「春のお楽しみ会」だね。体育館でたくさん遊ぼうね。」と楽しみにしていました。当日は、駐車場でも車を誘導していただき、とても温かく迎えてくださいました。

最初に鳥大の学生さんのリードでダンスをした後、シートの上に子どもをのせて、引っ張ってもらって遊びました。これがとても楽しそうでした。中には保護者も一緒に引っ張ってもらっている組もありました。その後はダンボールを積んでくずして遊ぶコーナー、シャボン玉づくりコーナー、大きな風船の登場、キャラクターとの写真撮影会等々、子ども達のキラキラした瞳が印象的でした。保護者も童心にかかり、とてもリラックスして楽しんでいる様子でした。普段、休日に子ども達と遊ぶ機会が少ないので、とても貴重な時間となりました。

活発によく動いて遊ぶ子供たちや、ずかずに遊びを楽しむ子ども等、様々でしたが、どの子どもたちも十分満足できた様子が伺われ大変嬉しく思いました。

若草学園に対する長きにわたった福祉活動に保護者共々感謝いたします。とともに、今後も引き続き当学園への支援をいただきますようお願いいたします。

若草学園保護者会 会長 中垣 三保